

こんにちは 日本共産党県議団です

党県議団が 知事に申し入れ

コロナ禍、災害から いのち・くらしを守る提案

日本共産党長野県議団は9月14日に県庁で9月議会に向けた知事への申し入れを行いました。

申し入れは、▶自宅療養者へのフォロー体制▶社会的検査の対象の拡充▶臨時の医療機関施設の準備▶経営が限界に達している事業者への支援の増額▶「新型コロナ中小企業者等特別応援金支援事業」の適用条件の拡大▶放課後児童健全育成事業が安全に行われるよう従事者や利用者への抗原検査の実施▶大雨災害の復旧は現状回復ではなく地元住民の声を聞いて改良復旧を▶避難所の設置・運営の改善、見直し▶コロナ禍



による生活困窮者への食料支援の強化など9項目です。

各地の医療体制がひっ迫していることを報告し、団として「松本国立病院跡の施設などを利用してはどうか」と具体的に提案しました。知事は県としても検討した経過があると

し、「最悪の状況とならぬよう引き続き検討していく」と答えました。

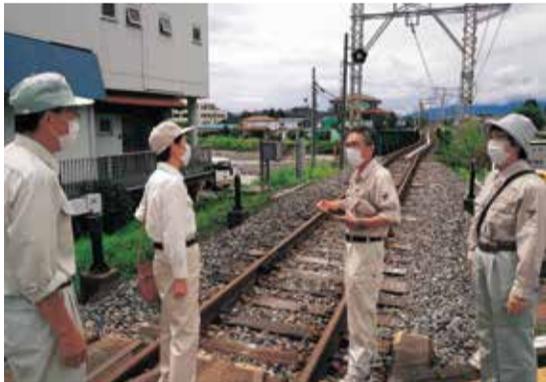
8月25日には新型コロナ感染症対策について、感染が爆発的に拡大し医療非常事態宣言も発せられたことから、緊急申し入れも行いました。



各地で災害が発生し現地調査へ

橋台が傾き鉄道が不通に——辰野町

災害救助法の適用となった辰野町に、党県議団が現地調査を行いました。河川をまたぐ鉄道の橋台が動き、線路がくの字に折れ曲がったため不通となっているJR飯田線の辰野→伊那松島間、岡谷→辰野→塩尻間が線路への土砂流入で運転再開のメドがたたない中央東線では、通学、通勤に重大な支障となっていました。知事も鉄道事業者に代替バスの運行を要請しましたが、県議団としても一日も早い対応を求めました。



災害で折れ曲がった線路（辰野町・8月19日）

母子3人が土石流で犠牲に——岡谷市

住宅に土砂が流入し母子3人が犠牲となった岡谷市・川岸東では、党県議が被災地を視察し、避難所を訪問しました。避難所では、近くに住む住民が「未明にドーンと音がして跳び起き、家から飛び出た。物置が道路にはみ出し、膝下まで土砂があった」と話しました。

党県議は、「避難が長期化すれば段ボールベッドなど設備の充実も必要。国や県に必要な支援を求めていく」と話し、避難指示の発令の遅れについては「いつ出すことが適切なのか検証する必要がある」と語りました。



岡谷市川岸東土石流発生現場（8月15日）

大規模土石流で

住宅などに大きな爪痕——茅野市

茅野市で、9月5日夜の大雨によって発生した大規模土石流災害で、住宅や道路などに大きな被害の爪痕を残しました。宮川高部区では、住民の多くが避難してけが人は出ませんでした。建物被害は全壊8軒、半壊1軒、床上浸水2軒に上りました。

県議団の現地調査では、地域住民から「山の異変に気づいた区役員や消防団が協力して1軒ずつ訪問し、直接声をかけて避難を呼びかけたことで人的被害が出なかった」「二次災害の恐れもあり、国や県の支援も要請してほしい」などの声が出されました。



茅野市の土石流が発生した下馬沢川（9月11日）

県議団が毎年の予算要望で求めてきた「光害」の防止が公害防止条例改正の中に加えられ、「良好な生活環境の保全に関する条例」として条例名を変更し、可決しました。

この中ではサーチライト等の使用禁止と共に星空環境に関する配慮が盛りられ、天体観測の愛好者や星空観光を目的に長野県を訪れる皆さんに歓迎されています。

公害防止条例に
「光害」加え改正

日本共産党県議会報告

No. 10 2021年11月 【2021年9月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpnngkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

